

名取川とともに復興し、 新たな賑わいを生み出したまち 閑上

閑上地区かわまちづくり(宮城県名取市、名取川水系名取川)



評価ポイント

★ 河川とまち・運河・港が連携し、復興事業の中で拠点整備と河川整備を上手く組み合わせている。また、この地区を地域の拠点として育てて行こうという発想が災害復興・継承の観点から高く評価できる。

★ 震災で甚大な被害を受けたにもかかわらず、かわまちづくりの取組などにより居住人口が増えるとともに、商業施設の建設・運営により被災事業者自らが主体性を持って地域を盛り上げようとしている。

取組内容

✓ 被災事業者らが中心となった地域の賑わい拠点

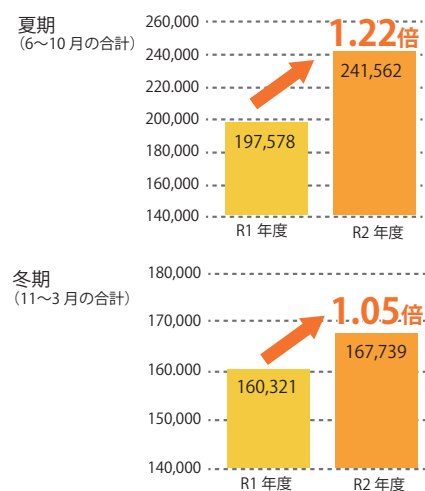
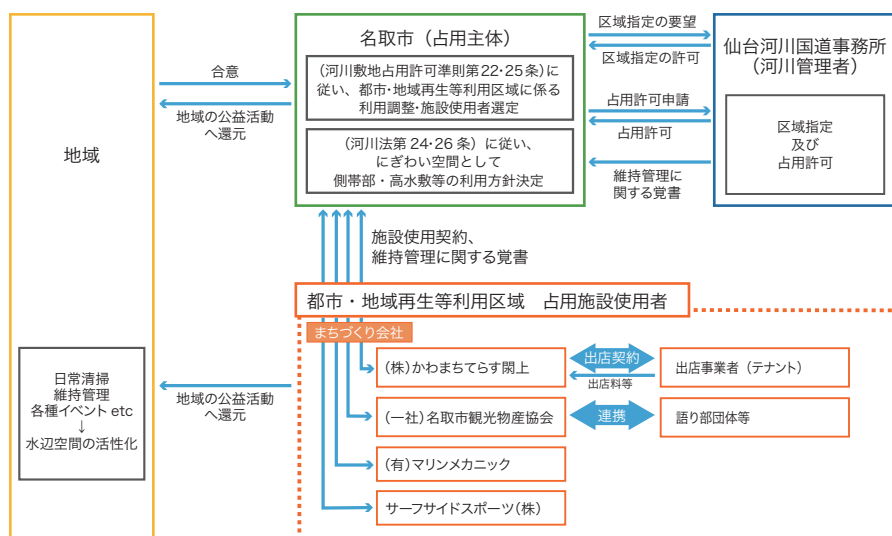
河川堤防と同じ高さに整備した側帯上に、被災事業者らが中心となって設立したまちづくり会社が商業施設を建設・運営。

✓ 様々な関係主体によるイベント等の開催及び情報共有・発信

まちづくり会社が主体となり、定期的にイベントを開催するとともに、行政以外の様々な関係主体が関わって情報を共有し、WEBやSNS等で情報を発信。

✓ 舟運事業、震災復興伝承事業等による復興まちづくりの推進

都市・地域再生等利用区域を指定し、舟運事業や河川防災ステーションにおける震災復興伝承事業等により、被災体験を活かした復興まちづくりを実施。



「かわまちてらす閑上」の来客者数の推移

計画名称 閑上地区かわまちづくり

推進主体 名取市水辺を活かしたまちづくり検討会

登録年度 平成26年度

問合せ先 名取市生活経済部商工観光課